

防災安全対策特別委員会 案件一覧

(令和6年1月16日開催分)

○所管事務報告 8件

部局	報告順	件名	資料番号	説明者(所管課長名等)
総務部	1	大田区羽田空港航空機事故対策準備室の設置について	1	土屋 防災危機管理課長
	2	民間企業との災害時協力協定の締結について	2	長谷川 防災計画担当課長
	3	令和5年中の大田区内の火災発生状況について	3	奥寺 防災支援担当課長
	4	総合震災消防訓練の実施結果について	4	
	5	令和5年度大田区総合防災訓練(震災編)の実施について	5	
	6	令和5年度大田区防災市民組織等感謝状贈呈式の開催について	6	
	7	令和5年度第2消防方面救助救急訓練の参加について	7	
	8	死者の発生した火災について	8	

大田区羽田空港航空機事故対策準備室の設置について

令和6年1月2日17時47分頃に羽田空港にて、日本航空機と海上保安庁機との衝突事故が発生した。これに対処するため区は大田区危機管理対策本部等設置要綱に基づき「羽田空港航空機事故対策準備室」（以下「対策準備室」という。）を設置した。その後、区の対応が収束したため、1月5日に廃止した。

1 事故発生日時、場所

令和6年1月2日（火）17時47分（推定）
大田区羽田空港 C滑走路

2 事故概要

日本航空の旅客機が羽田空港に着陸した際、海上保安庁の航空機と衝突、炎上した

3 死傷者(令和6年1月4日現在)

- (1) 日本航空 : けが人 14名
- (2) 海上保安庁 : 死者 5名 けが人 1名

4 事故発生から鎮火までの経過

- ① 事故発生・クラッシュホンによる連絡 1月2日 17時47分
- ② 現地対策本部設置 18時20分
- ③ 大田区情報収集・連絡態勢構築 19時30分
- ④ 現地合同対策本部設置 19時44分
- ⑤ 大田区羽田空港航空機事故対策準備室設置 20時30分
- ⑥ 海上保安庁機鎮火 21時35分
- ⑦ 日本航空機鎮火 1月3日 2時15分

5 対策準備室の状況

(1) 設置期間

令和6年1月2日（火）から令和6年1月4日（木）まで

(2) 対策準備室の構成部局

- 危機管理室（本部事務局、現地対策本部要員派遣、情報発信）
- 企画経営部（情報発信）
- 総務部（総務対応）
- 地域力推進部（地域の状況確認、情報収集）
- 健康政策部（救護情報の収集）
- 空港まちづくり本部（国土交通省航空局との連絡）

(3) 対策準備室の対応

① 地域防災計画上の対応事項（危機管理室）

ア) 情報収集対応

課長級1名及び係長級1名が現地合同対策本部に参集し、情報収集にあたった。

イ) 東京空港事務所からの要請に基づく対応の要否の確認

現地救護所、区への応援要請や、避難所の設置等の要請がないことを確認した。

ウ) 地域防災計画に基づく区の判断事項

避難指示や警戒区域の設定、区独自の救護活動の必要性はないと判断し、引き続き情報の収集と発信にあたることとした。

② 広報、情報発信（企画経営部・危機管理室）

大田区公式X、大田区防災アプリ、区民安全・安心メールで情報を発信

③ 羽田空港の近隣地域の情報収集活動（地域力推進部）

羽田地区・糎谷地区自治会連合会への情報提供及び情報収集

④ 医療機関との連携（健康政策部）

各地区医師会との連携・情報収集

⑤ 国土交通省航空局との連携（空港まちづくり本部）

情報収集の上、安全確保を要請

防災安全対策特別委員会 令和6年1月16日
総務部 資料2番
所管 防災危機管理課

民間企業との災害時協力協定の締結について

福祉部高齢福祉課と株式会社ハートフルケアとの間で、災害時協力協定を締結したことを報告する。

1 概要

区の災害時において、区から要請があった場合には、災害応急活動に協力する旨を記載した災害時協力協定を令和5年11月30日締結した。

2 協定の内容

- (1) 株式会社ハートフルケアが運営管理する施設、設備及び物品の提供
- (2) (1) の施設を福祉避難所として利用する場合における運営支援
- (3) その他、区の要請に基づく災害応急活動についての必要な協力

3 協定対象施設及び所在地

介護付有料老人ホームカーサプラチナ中馬込
東京都大田区中馬込三丁目9番15号

4 相手方団体の所在地

東京都品川区東五反田五丁目25番19号

5 所管所属

福祉部高齢福祉課

令和5年中の大田区内の火災発生状況について

1 区内の火災発生状況（令和6年1月1日時点）

	火災件数		焼損床面積		死者		負傷者	
	件数	(前年比)	㎡	(前年比)	人数	(前年比)	人数	(前年比)
大森消防署管内	52件	(-9)	398㎡	(+104)	2人	(-1)	12人	(+3)
田園調布消防署管内	29件	(-9)	85㎡	(-123)	0人	(-1)	3人	(-5)
蒲田消防署管内	59件	(+10)	145㎡	(-7)	0人	(±0)	10人	(-4)
矢口消防署管内	33件	(+8)	36㎡	(-22)	0人	(±0)	11人	(+6)
区内計	173件	(±0)	664㎡	(-48)	2人	(-2)	36人	(±0)

※速報値のため、今後変更となる場合があります。

※（ ）数は前年比

2 東京消防庁管内の火災発生状況（令和6年1月1日時点）

	火災件数		焼損床面積		死者		負傷者	
	件数	(前年比)	㎡	(前年比)	人数	(前年比)	人数	(前年比)
東京消防庁管内	4,326件	(+373)	17,279㎡	(-4,695)	87人	(-2)	752人	(+10)

※速報値のため、今後変更となる場合があります。

※（ ）数は前年比

総合震災消防訓練の実施結果について

1 実施概要

東京消防庁総合震災消防訓練への協力依頼があったことから、実災害発生時と同様に、防災危機管理課で消防派遣者を受け入れ図上訓練を実施するとともに、実動訓練現場に出勤し、現地調整所と災害対策本部との連携要領を確認した。

また、長期化対応を見据えた交替要領や停電時を想定した資器材活用要領を検討した。

2 日時等

令和5年11月25日（土）8時30分から翌26日（日）7時30分まで

(1) 大田区本庁舎での図上訓練時間

8時30分から翌日7時30分まで（図上訓練後の検討会含む）

(2) 洗足池公園における放水訓練（消防署・消防団合同）への出場

13時00分から15時00分

(3) 第二消防方面訓練場における危険物火災対応訓練への出場

20時30分から22時30分まで

3 実施場所

(1) 本庁舎5階情報処理室

(2) 本庁舎5階防災危機管理課事務室

(3) 洗足池公園

(4) 東京消防庁第2消防方面訓練場

4 訓練参加者

(1) 大田区管理職 3名

防災危機管理課長、防災計画担当課長、防災支援担当課長

(2) 大田区職員 防災危機管理課7名

(3) 東京消防庁連絡要員 延べ9名

ア 蒲田消防署災害対策調整担当課長

イ 区内4消防署から2名ずつ交代で実施

5 訓練内容

東京地方で最大震度7の地震が発生した想定で、下記の訓練を実施

(1) 大田区の情報系システム（総合防災情報システム、東京都DIS等）を活用した情報収集等

(2) 大田区現地調整所からの情報収集要領

(3) 消防連絡要員との連携要領

(4) 情報収集機器等停止時の対応要領

(5) 停電時準備資器材の活用要領

6 記録写真及び実施結果

	<h3>大田区情報系システム情報収集等</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・消防派遣員到着前に、D I Sを活用し、災害情報を収集 ・総合防災情報システムに入手した災害情報を入力 ・総合防災情報システムからD I Sへ避難所開設情報を報告 ・延焼シミュレーションを活用した避難指示の可否検討 ・災害状況に応じ、D I Sのクロノロジーでの申請するスキームの確認
	<h3>消防連絡要員との連携要領</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの図上訓練で確立した災害情報収集方法による実施 ・受発用紙を活用し、区で把握した災害情報を提供 ・災害情報を追う場面で活用のため、消防派遣者専用のホワイトボードを提供
	<h3>情報収集機器等停止時の対応要領</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・システム障害を見据え、総合防災情報システムに入力した事案一覧をExcel形式で出力して対応 ・通信回線障害を見据え、通常時はZOOMを使用する消防署への一斉連絡を、MCAアドバンスを活用した一斉連絡に変更して実施
	<h3>停電時準備資器材の活用要領</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・防災危機管理課に配置されている非常用電源等を実際に使い効果を確認 ・非常時に使用する充電資器材の組立及び設定要領の確認 ・投光器の作動及び情報処理室運営に必要なとなる照度の確認
	<h3>大田区現地調整所からの情報収集要領</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・洗足池の長距離送水訓練現場及び第二消防方面訓練場の危険物火災対応訓練現場に出向 ・現地調整所から区情報処理班への情報提供で、LOGOチャットによる画像共有、MCAアドバンスによる通信要領の確認

防災安全対策特別委員会 令和6年1月16日
総務部 資料5番
所管 防災危機管理課

令和5年度大田区総合防災訓練（震災編）の実施について

令和5年度の総合防災訓練（震災編）については、体感型防災アトラクションを実施する。

1 概要

区施設を臨場感あふれる会場に設定し、参加者の没入感を高め、災害発生時の状況を疑似体験で学ぶ、『全員参加型 体験学習』のスタイルにより、防災について体感して関心をもってもらうことを目的とした内容となっている。

2 日時等

(1) 実施日及び会場

令和6年2月11日（日）産業プラザ（P i O）

(2) 実施時間

10時30分～12時00分、13時30分～15時00分の計2回実施

3 対象・募集

区内在住、在学、在勤者（募集数：200名（1回100名×2回））

4 募集期間

令和6年1月22日から同2月7日まで（定員に達し次第締め切り）

5 周知方法

- (1) 区報（1月11日、21日合併号）、ホームページ、防災ポータル、X（旧ツイッター）で周知する。
- (2) 特別出張所等各区施設にチラシを置き、広報するほか、区立小学校の全生徒にチラシを配布し、参加への呼びかけを行う。

6 その他

NHK、消防、警察、自衛隊の広報ブースを設置予定

〈体感型防災アトラクションの構成イメージ〉

① ルール説明

防災の基本である「自助」「共助」についてのレクチャーを行い、目的意識を高めます。



② 防災アトラクション本編

第1ステージに移動後、大型スクリーンに、災害発生ニュース報道が流れ、仲間と共に避難行動などのミッションをクリアし、制限時間内に安全確保（脱出成功）を目指します。



③ 最終レクチャー

タイムアップ後、再集合。ここで、振り返りシートを使い、防災知識を深めていく、最も重要な時間となります。



令和5年度大田区防災市民組織等感謝状贈呈式の開催について

1 目的

永年に渡り、地域の防災活動を積極的に推進するなど、その功績の顕著な防災市民組織、市民消防隊及び市民消防隊員に対し、感謝状の贈呈を行い、士気の高揚を図る。また、区民の防災意識の向上、防災市民組織の防災力向上のため、より効果的な取り組みを実施している自治会・町会から地域での活動事例を発表していただくことで、地域の防災活動の参考としてもらい活動の活性化を図る。

2 実施日時及び会場

(1) 日時

令和6年3月2日(土) 13時30分から15時30分まで

(2) 会場

池上会館 集会室(大田区池上1-32-8)

3 内容

(1) 感謝状贈呈式

ア 対象

- ①活動歴10年以上の「防災市民組織」、「市民消防隊」及び「市民消防隊員」
- ②活動歴20年以上の「市民消防隊員」
- ③活動歴30年以上の「防災市民組織」、「市民消防隊」及び「市民消防隊員」
- ④活動歴40年以上の「市民消防隊員」

イ 今年度、贈呈対象の防災市民組織・市民消防隊・市民消防隊員(予定)

防災市民組織	(10年)	4組織
〃	(30年)	1組織
市民消防隊	(10年)	1組織
〃	(30年)	2組織
市民消防隊員	(10年)	41名
〃	(20年)	25名
〃	(30年)	16名
〃	(40年)	5名

計8組織、87名

(2) 活動事例発表

テーマ: 地域の防災リーダー「発災型防火防災訓練」(仮)

発表者: 大森三丁目連合町会

(3) 講話

テーマ: NHKと考える防災・減災 ~あなたのことばで命を守る~(仮)

講師: NHK首都圏局 視聴者リレーションセンター

エキスパート 小西政親

中嶋りの

令和5年度第2消防方面救助救急訓練の参加について

東京消防庁から大田スタジアムで実施する第2消防方面救助救急訓練への参加等の依頼があったことから、協力するとともに区の情報収集体制の向上を図る。

1 日時

令和6年2月6日（火）9時30分11時00分まで

2 実施場所

大田スタジアム 大田区東海一丁目2番10号

3 訓練想定等

- (1) 社会人野球の試合開催中に、大田スタジアムの1塁側スタンドにおいて、観客同士のトラブルにより観客1名が刃物を振り回したことによる負傷が発生
- (2) パニックとなった観客が避難する際に、スタンド出口付近で将棋倒しとなり多数の負傷者が発生

4 東京消防庁の訓練の重点

- (1) 指揮本部長を核とした組織的な活動要領の習熟
- (2) 先着ポンプ隊及び救急隊の初動対応要領
- (3) ポンプ隊と救急隊が連携した効果的なトリアージ要領
- (4) 多数傷病者の早期医療機関搬送要領
- (5) 関係機関等との連携

5 区災害対策本部体制として参加する主な活動

- (1) 情報収集活動
- (2) 広報情報提供活動

6 他の協力・見学機関（予定）

- (1) 大森警察署（行為者確保等）
- (2) 東邦大学大森病院（東京DMAT）
- (3) 昭和大学病院（東京DMAT）
- (4) 大森消防団
- (5) 大田スタジアム職員

死者の発生した火災について

1 出火日時等

- (1) 発生日時：令和6年1月11日（木）出火時分は調査中
- (2) 所 在：東糀谷6-8-7都営東糀谷六丁目アパート
- (3) 延焼被害：耐火造12階建て 共同住宅 住居30㎡焼損（部分焼）

2 時間経過

- (1) 出 火 調査中
- (2) 覚 知 23時42分
- (3) 鎮 圧 翌日2時02分
- (4) 鎮 火 翌日5時00分

3 人的被害

死者2名
負傷者3名

4 大田区の対応

糀谷特別出張所員が現場を確認し、住居施設の提供等を行った。